

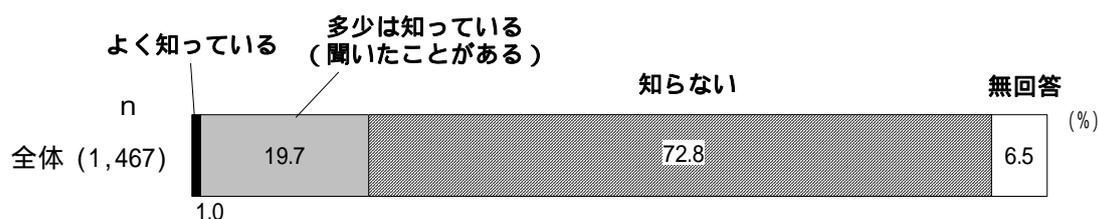
1 健康と福祉について

(1) 「新たな地域福祉像」の認知度

『知っている』は2割。「知らない」が7割を超える

問1 あなたは、平成16年3月に県が策定・公表した「千葉県地域福祉支援計画」で示された「新たな地域福祉像」(誰もが、ありのままに、その人らしく、地域で暮らすことができる)について知っていますか。(は1つ)

<図表1 - 1> 「新たな地域福祉像」の認知度



「新たな地域福祉像」の認知度を聞いたところ、「よく知っている」(1.0%)と「多少は知っている(聞いたことがある)」(19.7%)を合わせた、『知っている』(20.7%)が2割となっている。一方で、「知らない」(72.8%)は7割を超え最も多い。(図表1 - 1)

〔参考〕平成17年度の同様の項目による調査結果との比較

(単位: %)

	n 全体	『知っている』	「知らない」
平成17年度調査	1,081	21.3	78.0
今回調査	1,467	20.7	72.8

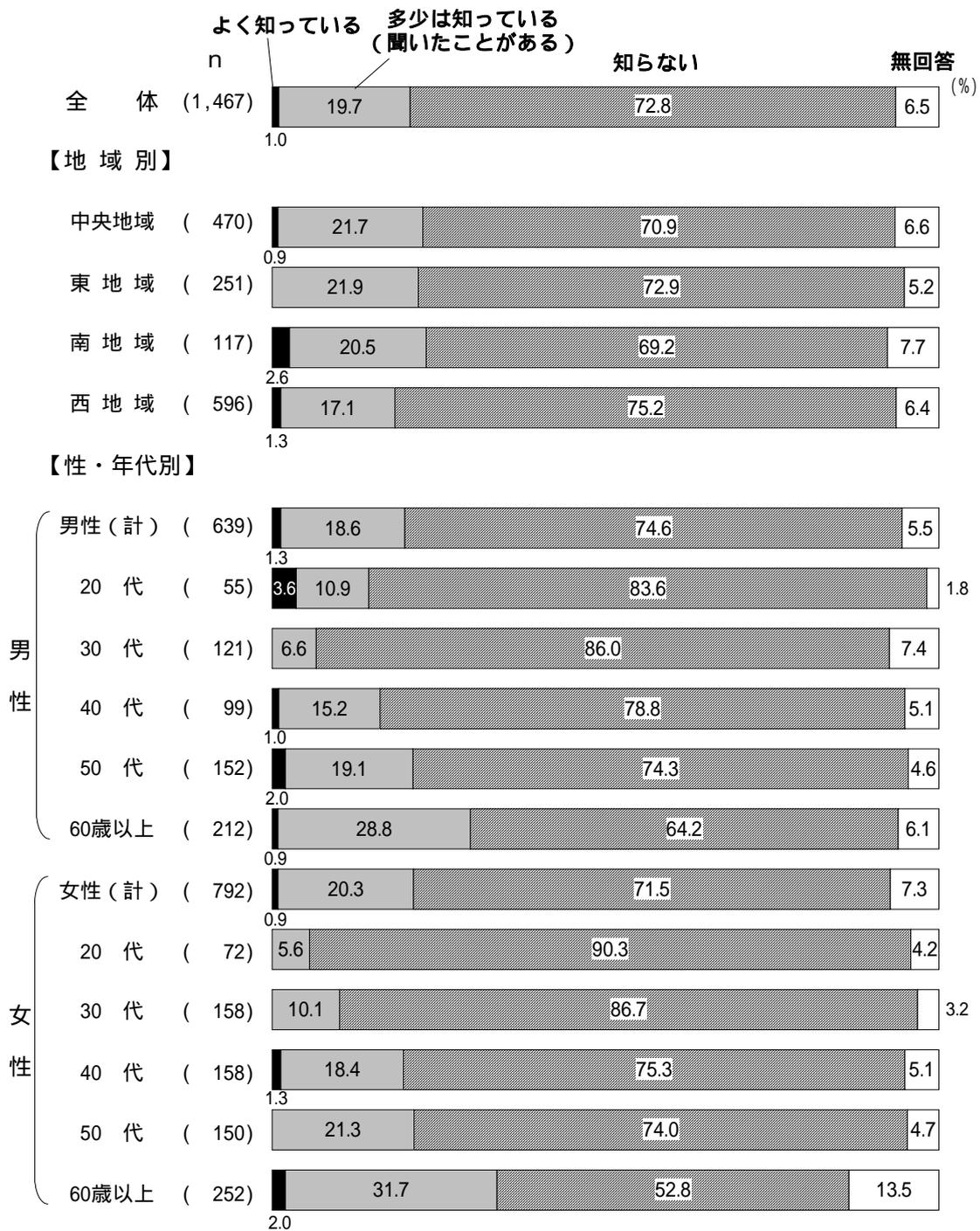
【地域別】

『知っている』に大きな差はないが、“西地域”(18.4%)で約2割と他の地域に比べ低くなっている。(図表1 - 2)

【性・年代別】

『知っている』は、20代以外の全ての年代で女性の方が男性よりも高くなっている。また、男女ともに年代が上がるほど認知度が高くなる傾向がみられ、60歳以上では3割前後となっている。(図表1 - 2)

<図表1 - 2> 「新たな地域福祉像」の認知度 / 地域別、性・年代別

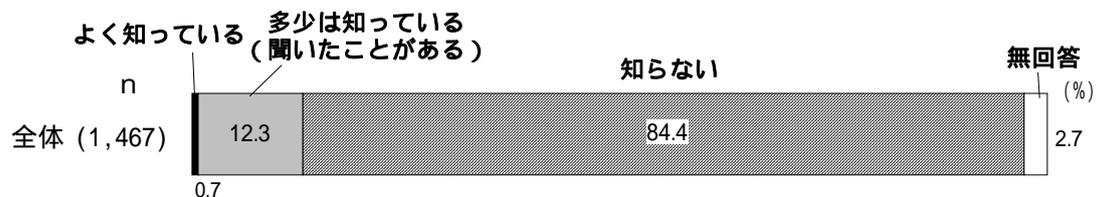


(2) 「健康福祉千葉方式」の認知度

『知っている』が1割台半ば。「知らない」は8割台半ば

問2 あなたは、「千葉県地域福祉支援計画」など各種計画やアクションプランの策定にあたり用いられた「健康福祉千葉方式」(対象者横断的な施策展開と当事者を含めた民間と行政の協働を特徴とした健康福祉施策の推進手法)について知っていますか。(は1つ)

<図表1-3> 「健康福祉千葉方式」の認知度



「健康福祉千葉方式」の認知度を聞いたところ、「よく知っている」(0.7%)と「多少は知っている(聞いたことがある)」(12.3%)を合わせた『知っている』(13.0%)は1割台半ばとなっている。一方で、「知らない」(84.4%)は8割台半ばで最も多い。(図表1-3)

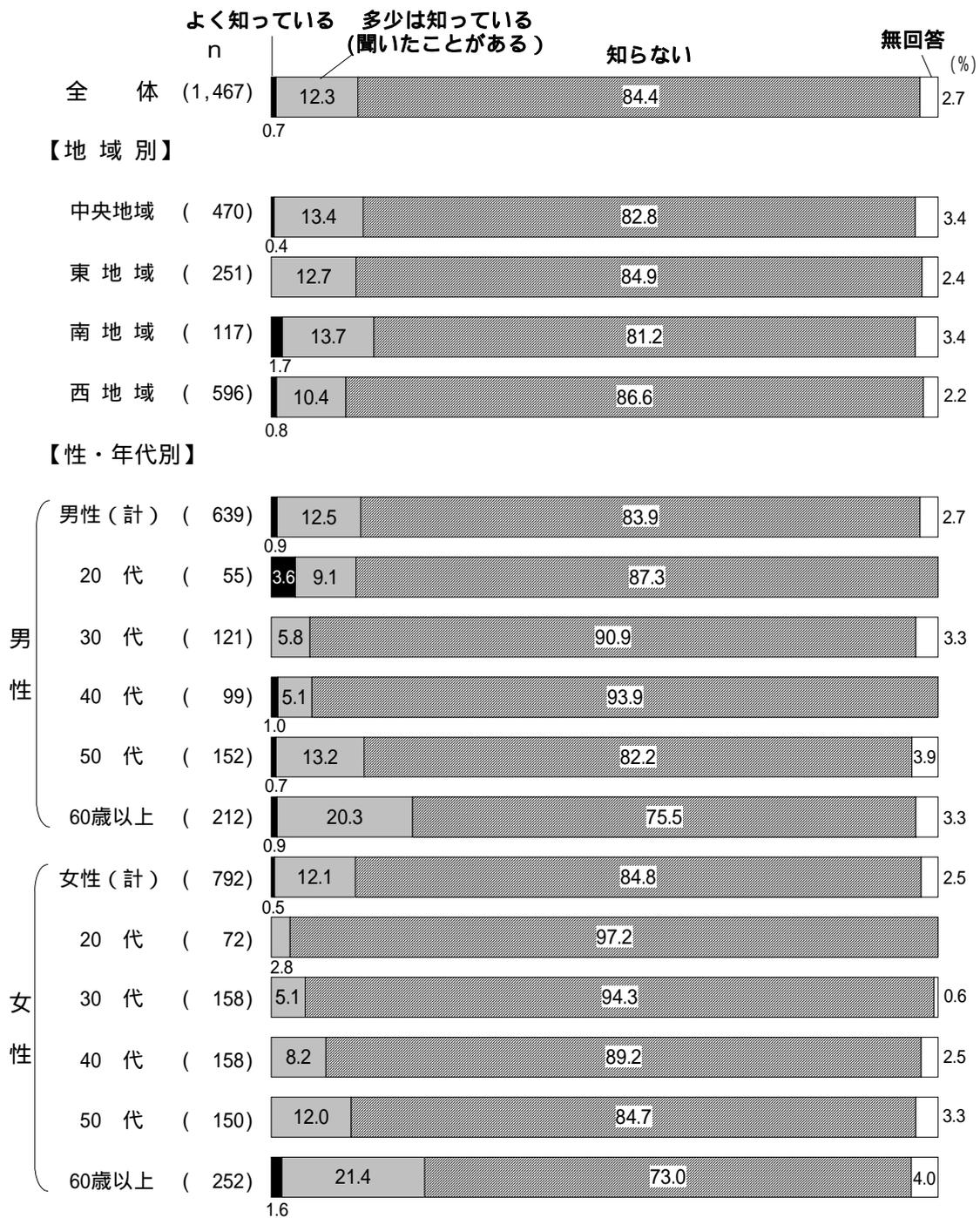
【地域別】

地域による特に大きな違いはみられない。(図表1-4)

【性・年代別】

『知っている』は男女ともに60歳以上で高く、ともに2割を超える。(図表1-4)

<図表1 - 4> 「健康福祉千葉方式」の認知度/地域別、性・年代別



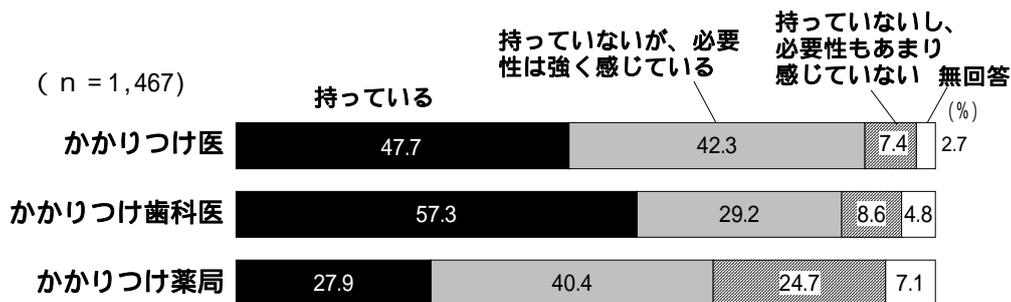
(3) かかりつけ医の有無

かかりつけ歯科医を約6割、かかりつけ医を約5割が持っている

問3 あなたの過去の病歴や体質などを知っていて、気軽に相談に応じてくれるとともに、必要などときには他の専門機関等を紹介してくれる、身近な医師（歯科医・薬局）を、「かかりつけ医（歯科医・薬局）」と呼んでいます。

あなたは、「かかりつけ医（歯科医・薬局）」をお持ちですか。（はそれぞれ1つずつ）

<図表1-5> かかりつけ医の有無



かかりつけの医師、歯科医、薬局を持っているかどうかを聞いたところ、「持っている」は、歯科医（57.3%）で約6割、医師（47.7%）で約5割だが、薬局（27.9%）では約3割である。また、「持っていないが、必要性は強く感じている」は、医師（42.3%）と薬局（40.4%）で4割を超えている。「持っていないし、必要性もあまり感じていない」は、薬局（24.7%）で2割台半ばとなっている。（図表1-5）

〔参考〕平成17年度の同様の項目による調査結果との比較

（単位：％）

	n 全体		「持っている」	「持っていないが、必要性は強く感じている」	「持っていないし、必要性もあまり感じていない」
平成17年度調査	1,081	かかりつけ医	49.6	39.3	10.0
今回調査	1,467		47.7	42.3	7.4
平成17年度調査	1,081	かかりつけ 歯科医	55.0	30.2	11.4
今回調査	1,467		57.3	29.2	8.6
平成17年度調査	1,081	かかりつけ薬局	27.1	39.3	26.7
今回調査	1,467		27.9	40.4	24.7

【地域別】

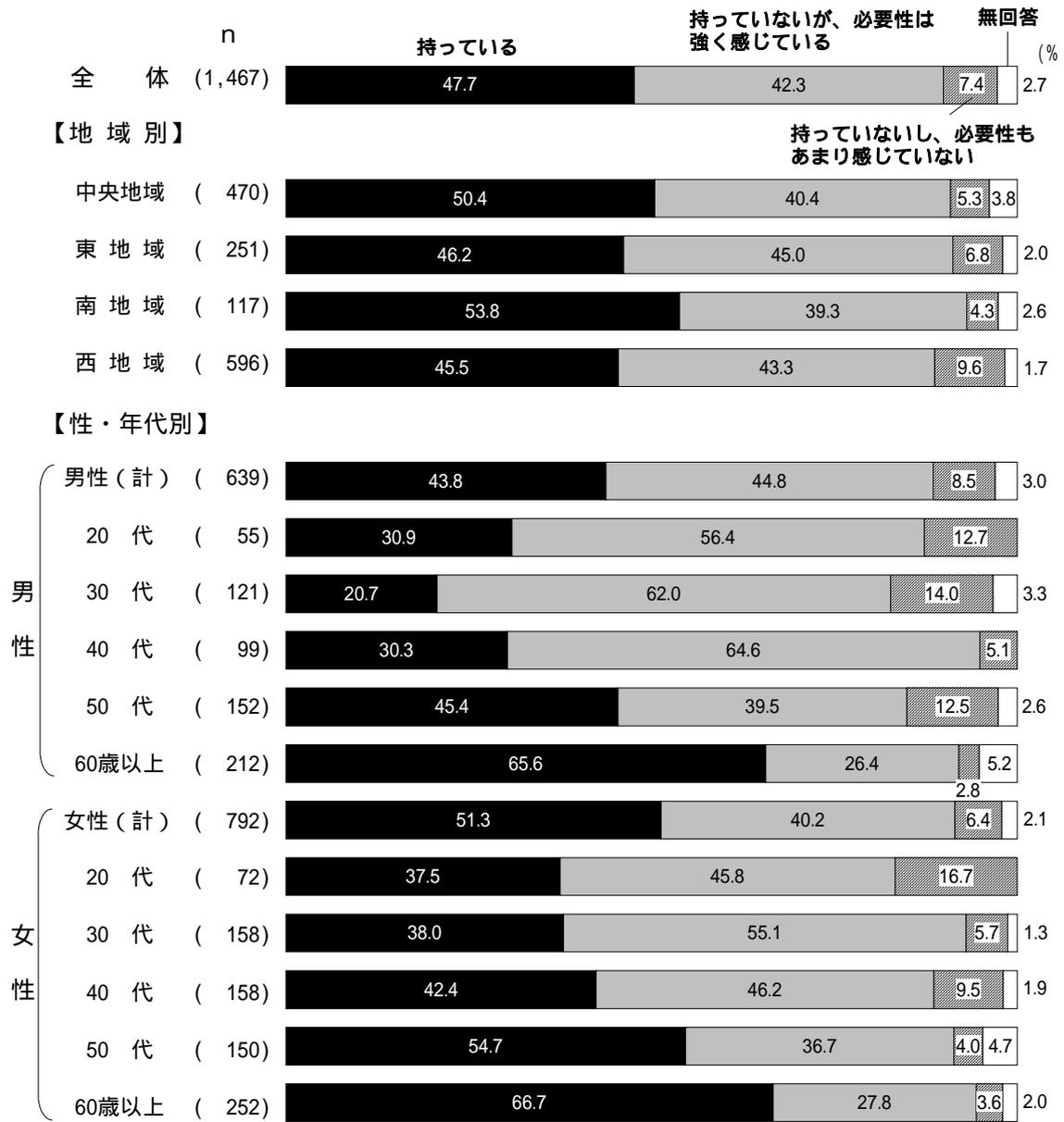
かかりつけ医を「持っている」は、“南地域”（53.8%）で他に比べ高いが、歯科医と薬局は、逆に“南地域”で低くなっている。（図表1-6）

【性・年代別】

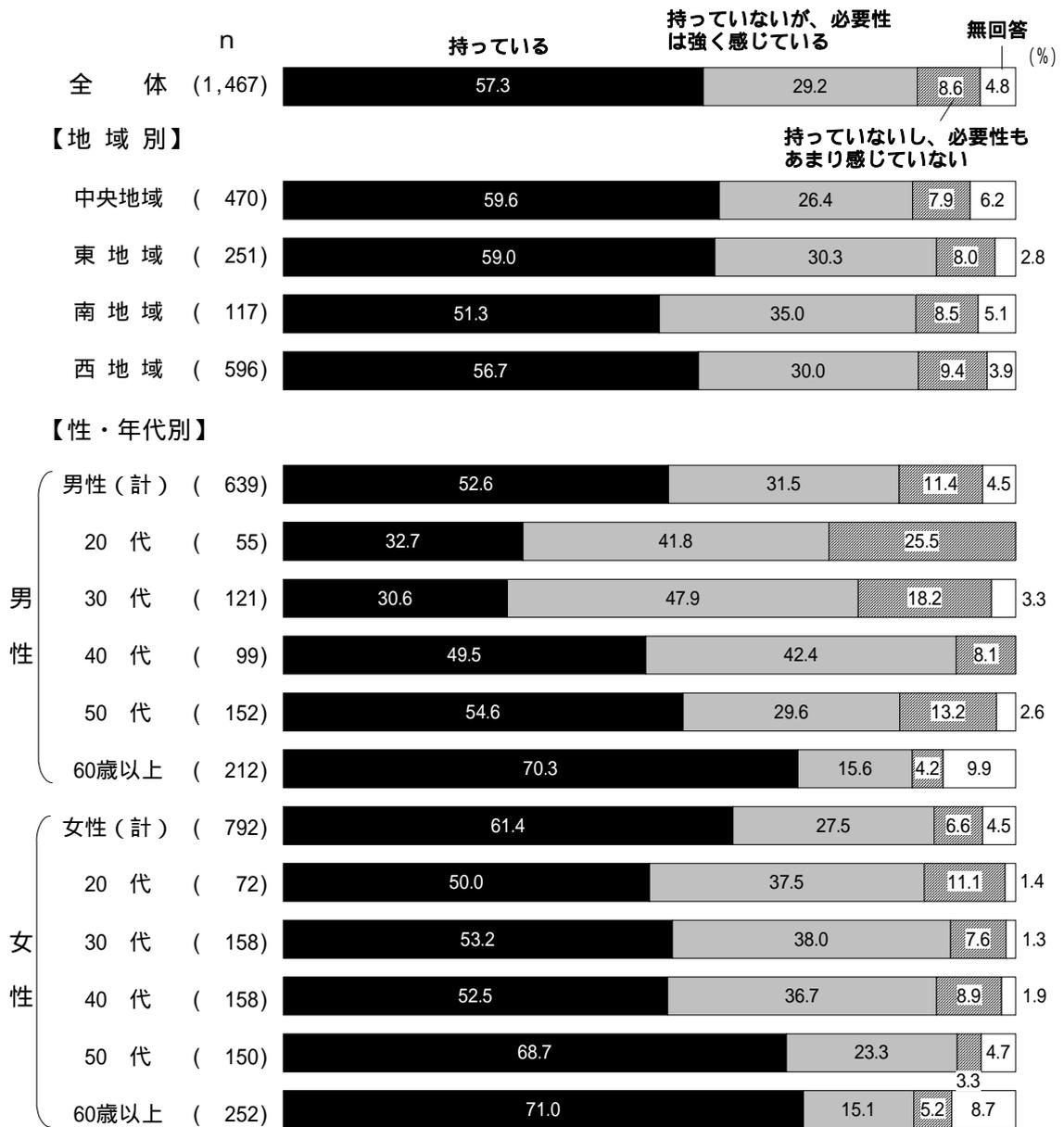
医師、歯科医、薬局いずれの場合も、各年代で女性の方が男性よりも「持っている」が高く、特に、医師では30～40代、歯科医では20～30代において、その年代の性別による差が顕著である。また、男女とも年代が上がるほどかかりつけを持つ割合が高くなっている。（図表1-6）

<図表1 - 6> かかりつけ医の有無/地域別、性・年代別

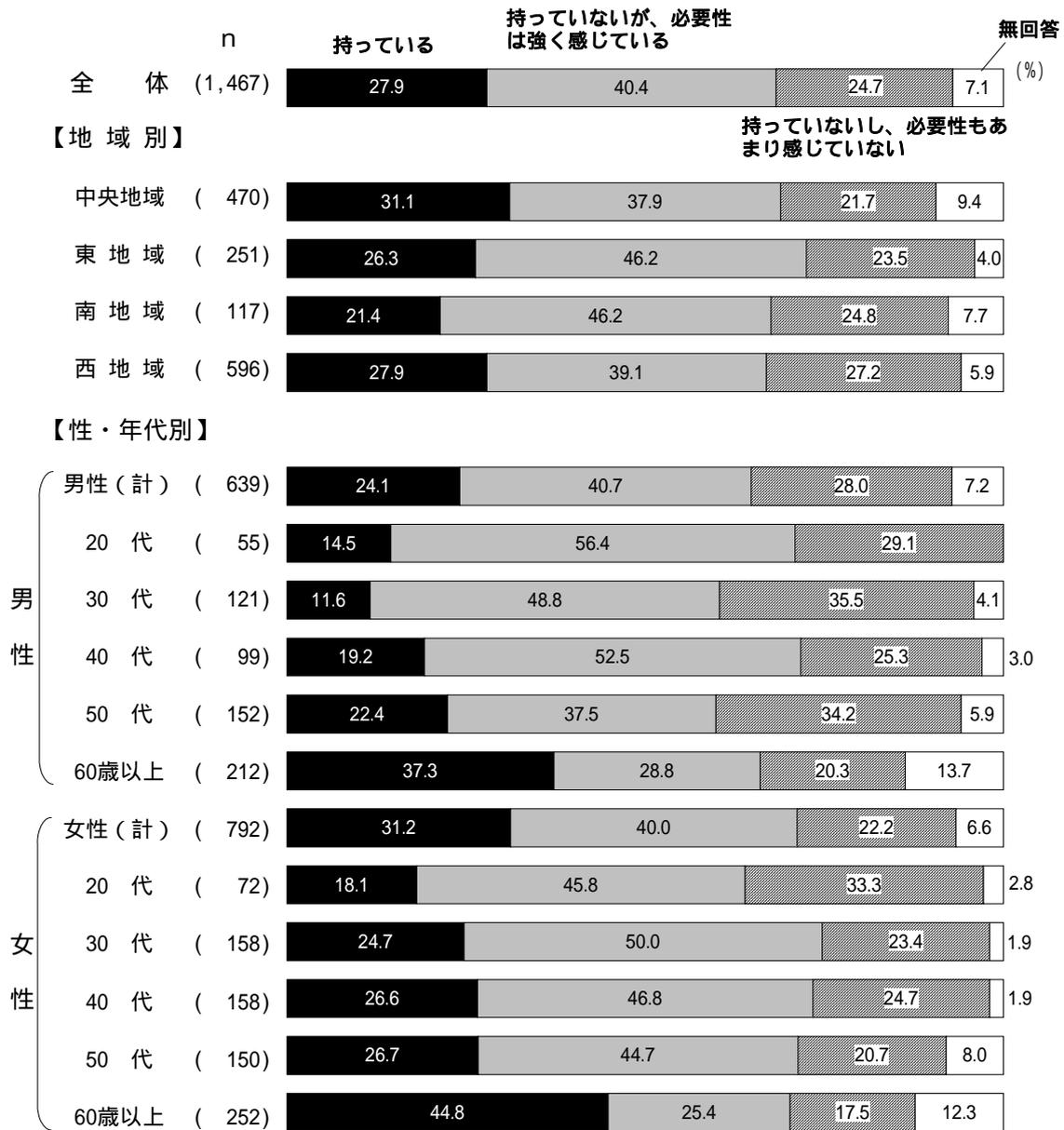
かかりつけ医



かかりつけ歯科医



かかりつけ薬局

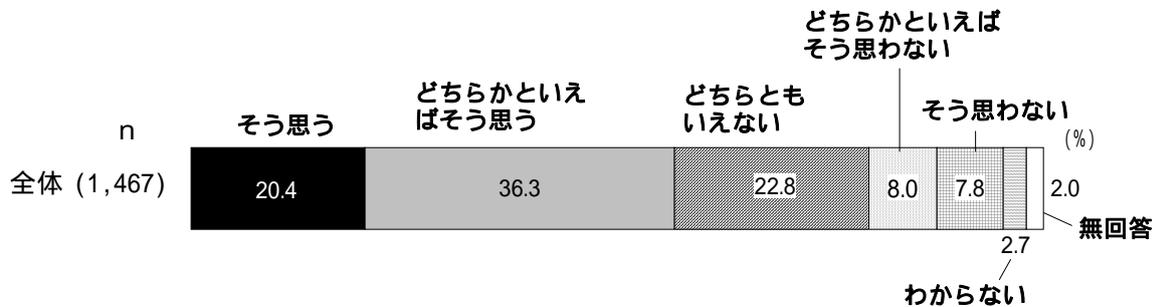


(4) ありのままの姿での生活

『そう思う』が5割台半ば

問4 あなたは、自分がありのままの姿で、地域において明るく楽しく生活していると思いますか。(は1つ)

<図表1 - 7> ありのままの姿での生活



自身がありのままの姿で生活していると思うか聞いたところ、「そう思う」(20.4%)と「どちらかといえばそう思う」(36.3%)を合わせた『そう思う』(56.7%)が5割台半ばとなっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(8.0%)と「そう思わない」(7.8%)を合わせた『そう思わない』(15.8%)は1割台半ばとなっている。(図表1 - 7)

〔参考〕平成17年度の同様の項目による調査結果との比較

(単位：%)

	n 全体	『そう思う』	『そう思わない』
平成17年度調査	1,081	53.9	15.5
今回調査	1,467	56.7	15.8

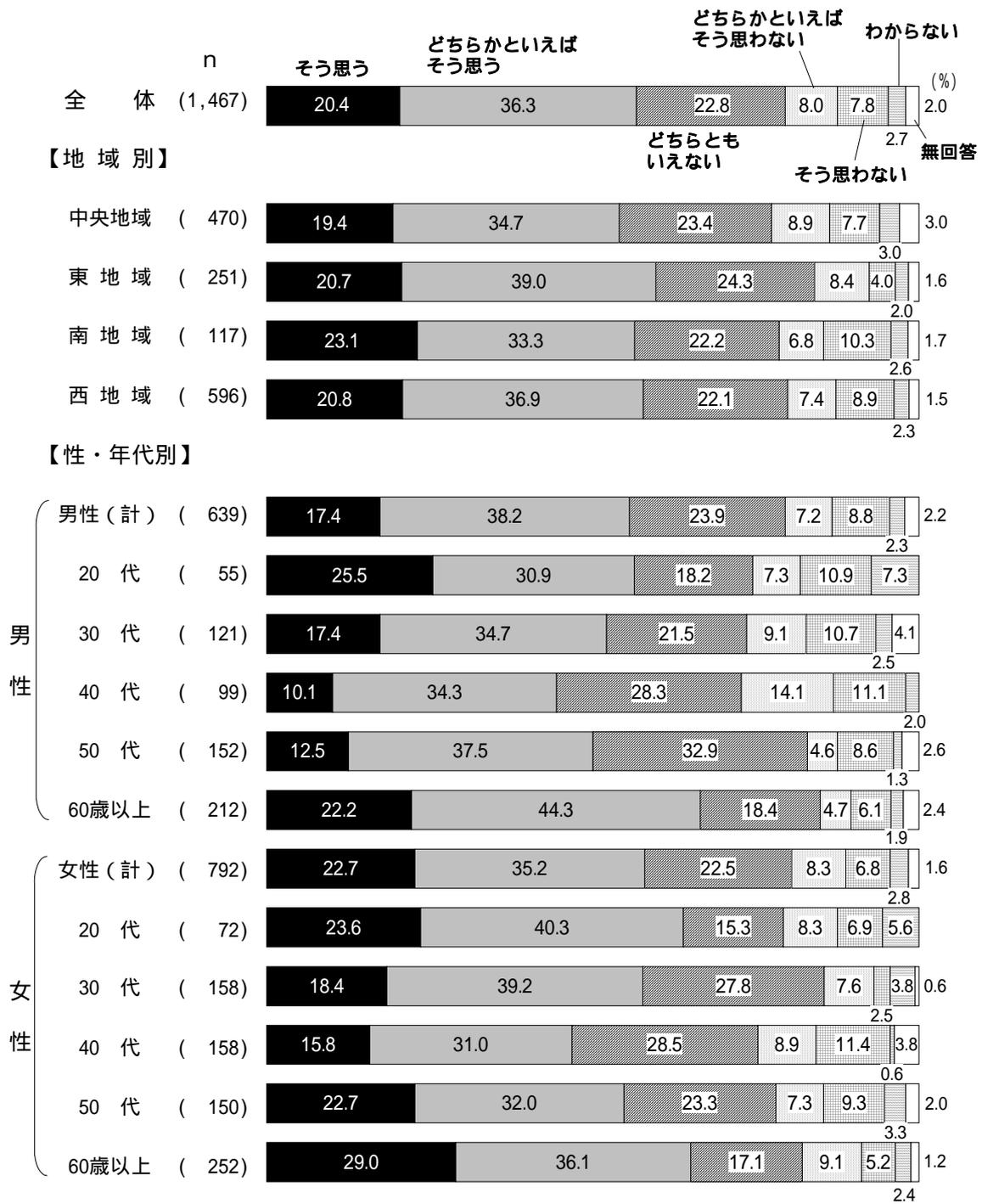
【地域別】

『そう思う』は“東地域”(59.7%)が約6割で、他の地域に比べて最も高くなっている。(図表1 - 8)

【性・年代別】

男女ともそれぞれ40代で『そう思う』が低くなっている。そのため、特に男性の40代は『そう思わない』(25.2%)が2割台半ばで、他の年代に比べて高い。(図表1 - 8)

<図表1 - 8> ありのままの姿での生活 / 地域別、性・年代別

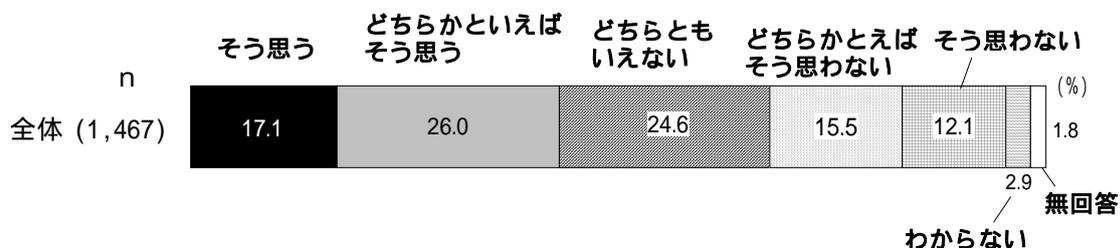


(5) 健康づくりに取り組むことができる環境

『そう思う』が4割台半ば

問5 あなたは、自分が積極的に健康づくりに取り組むことができる環境にあると思いますか。
(は1つ)

<図表1 - 9> 健康づくりに取り組むことができる環境



自分が積極的に健康づくりに取り組むことができる環境にあると思うか聞いたところ、「そう思う」(17.1%)と「どちらかといえばそう思う」(26.0%)を合わせた『そう思う』(43.1%)は4割台半ばとなっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(15.5%)と「そう思わない」(12.1%)を合わせた『そう思わない』(27.6%)は約3割である。(図表1 - 9)

〔参考〕平成17年度の同様の項目による調査結果との比較

(単位：%)

	n 全体	『そう思う』	『そう思わない』
平成17年度調査	1,081	42.1	26.1
今回調査	1,467	43.1	27.6

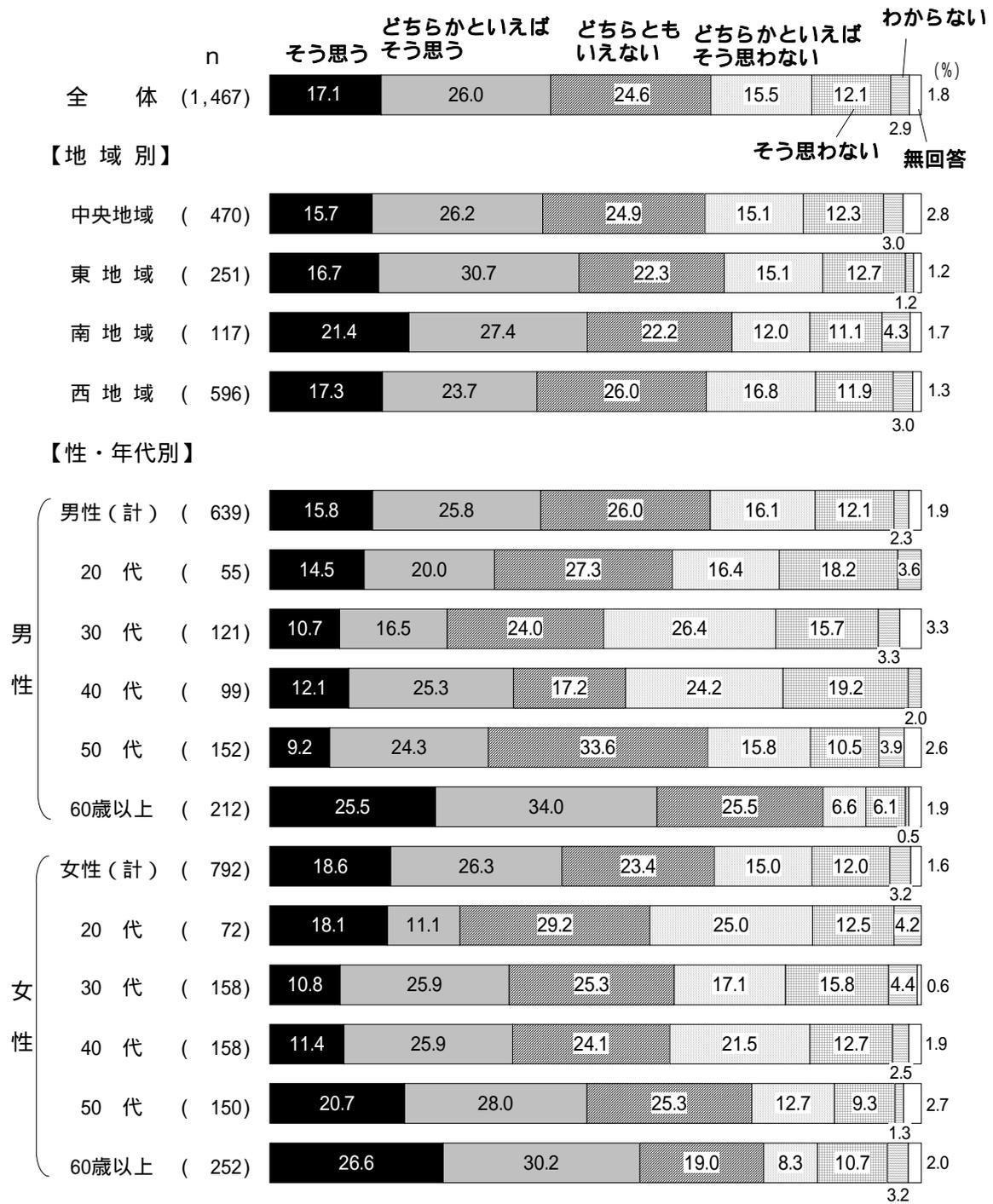
【地域別】

『そう思う』は、“東地域”(47.4%)と“南地域”(48.8%)で約5割と他の地域に比べて高くなっている。(図表1 - 10)

【性・年代別】

『そう思う』は、男性では60歳以上(59.5%)で約6割と高くなっている。女性では年代が上がるほど増加し、60歳以上(56.8%)で5割台半ばとなっている。(図表1 - 10)

<図表1 - 10> 健康づくりに取り組むことができる環境 / 地域別、性・年代別

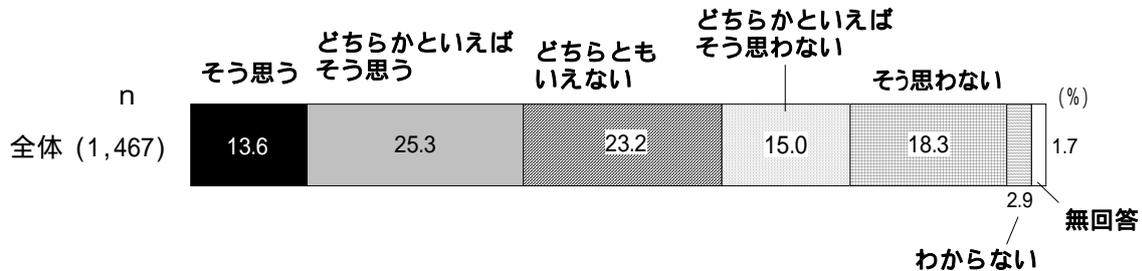


(6) 安心して受診できる医療体制

『そう思う』は約4割

問6 あなたは、自分が住み慣れた地域で安心して受診できる医療体制にあると思いますか。
(は1つ)

<図表1 - 11> 安心して受診できる医療体制



住み慣れた地域で安心して受診できる医療体制が整っていると思うか聞いたところ、「そう思う」(13.6%)と「どちらかといえばそう思う」(25.3%)を合わせた『そう思う』(38.9%)は約4割となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(15.0%)と「そう思わない」(18.3%)を合わせた『そう思わない』(33.3%)は3割台半ばとなっている。(図表1 - 11)

〔参考〕平成17年度の同様の項目による調査結果との比較

(単位：%)

	n 全体	『そう思う』	『そう思わない』
平成17年度調査	1,081	42.4	30.1
今回調査	1,467	38.9	33.3

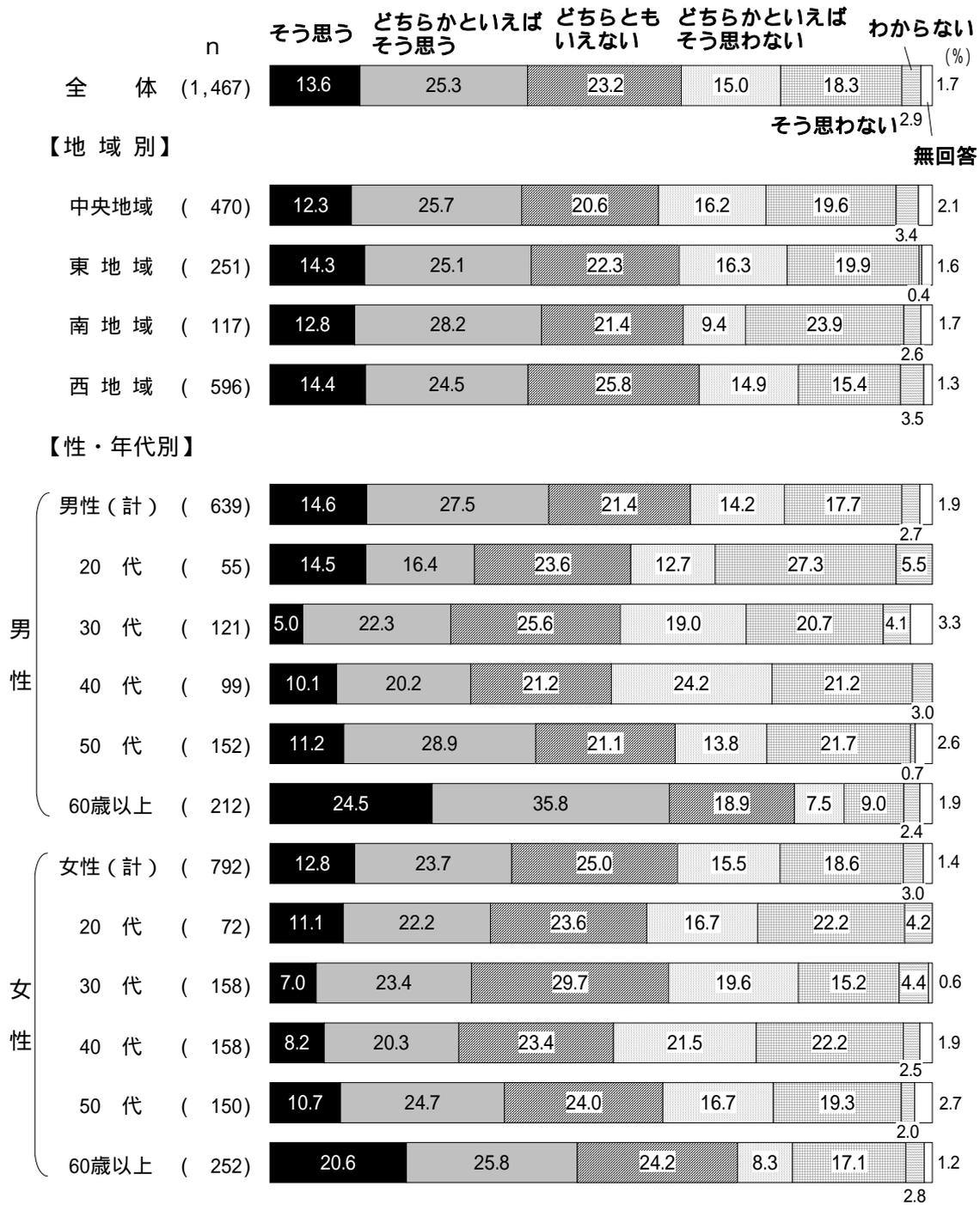
【地域別】

地域による特に大きな違いはみられない。(図表1 - 12)

【性・年代別】

『そう思う』は、男性では30代(27.3%)、女性では40代(28.5%)で落ち込んでいる。男女ともに60歳以上で『そう思う』が高く、特に、男性(60.3%)では6割となっている。(図表1 - 12)

<図表1 - 12> 安心して受診できる医療体制 / 地域別、性・年代別

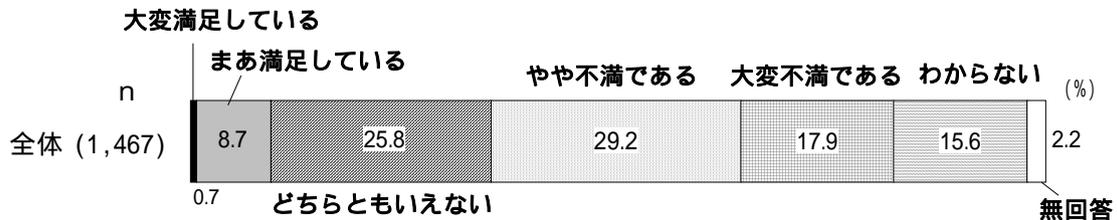


(7) お年寄りが安心して暮らせる高齢者対策についての満足度

『不満である』が約5割

問7 あなたは、お年寄りが安心して暮らせる高齢者対策について満足していますか。
(は1つ)

<図表1 - 13> お年寄りが安心して暮らせる高齢者対策についての満足度



お年寄りが安心して暮らせる高齢者対策についての満足度を聞いたところ、「大変満足している」(0.7%)と「まあ満足している」(8.7%)を合わせた『満足している』(9.4%)が約1割となっている。一方、「やや不満である」(29.2%)が約3割、「大変不満である」(17.9%)が約2割で、これらを合わせると、『不満である』(47.1%)は約5割となっている。(図表1 - 13)

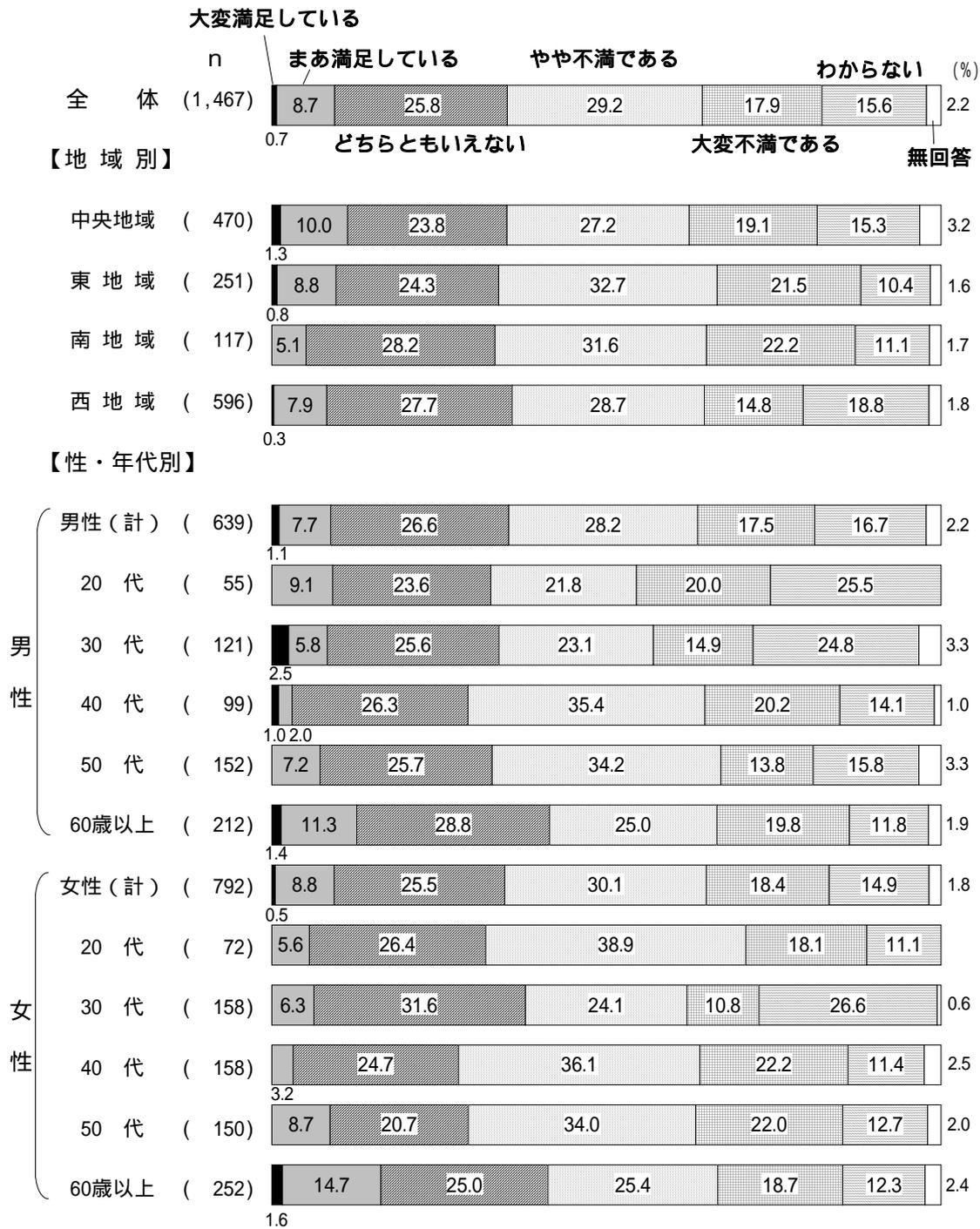
【地域別】

『満足している』で地域による大差はみられないが、『不満である』は“東地域”(54.2%)と“南地域”(53.8%)では5割を超えている。(図表1 - 14)

【性・年代別】

『満足している』は、男性の60歳以上(12.7%)で1割を超え、女性の60歳以上(16.3%)で1割台半ばと、他の年代に比べてやや高い。一方、『不満である』は、男性の40代(55.6%)、女性の20代(57.0%)、40代(58.3%)、50代(56.0%)で5割を超え高くなっている。(図表1 - 14)

<図表1 - 14> お年寄りが安心して暮らせる高齢者対策についての満足度 / 地域別、性・年代別

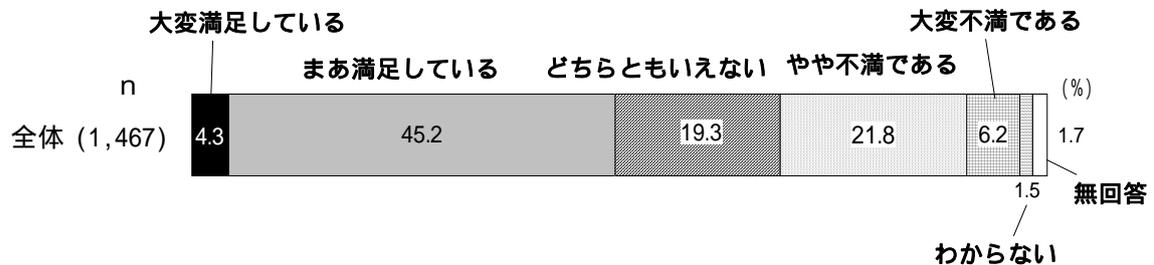


(8) 自分や家族の健康についての満足度

『満足している』が約5割

問8 あなたは、自分や家族の健康について満足していますか。(は1つ)

<図表1 - 15> 自分や家族の健康についての満足度



自分や家族の健康についての満足度を聞いたところ、「大変満足している」(4.3%)と「まあ満足している」(45.2%)を合わせた『満足している』(49.5%)が約5割となっている。一方、「やや不満である」(21.8%)と「大変不満である」(6.2%)を合わせた『不満である』(28.0%)は約3割である。(図表1 - 15)

〔参考〕平成16年度・平成17年度の同様の項目による調査結果との比較

(単位：%)

	n 全体	『満足している』	『不満である』
平成16年度調査	1,433	74.7	12.8
平成17年度調査	1,081	55.0	23.9
今回調査	1,467	49.5	28.0

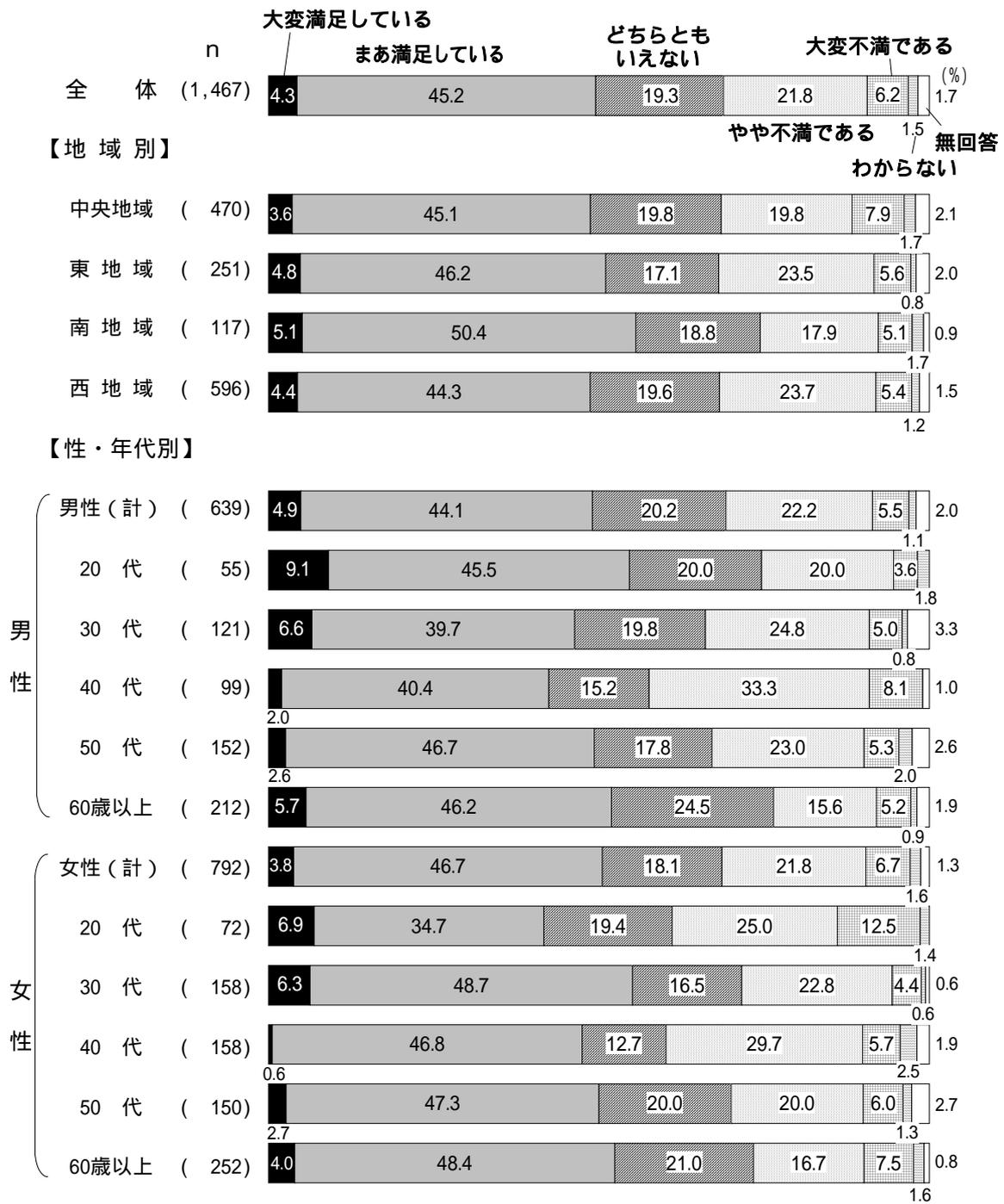
【地域別】

『満足している』は、“南地域”(55.5%)と“東地域”(51.0%)で5割を超えている。(図表1 - 16)

【性・年代別】

『満足している』は、男性40代(42.4%)と女性20代(41.6%)を除く各年代とも4割台半ばから5割台半ばになっている。(図表1 - 16)

<図表1 - 16> 自分や家族の健康についての満足度 / 地域別、性・年代別

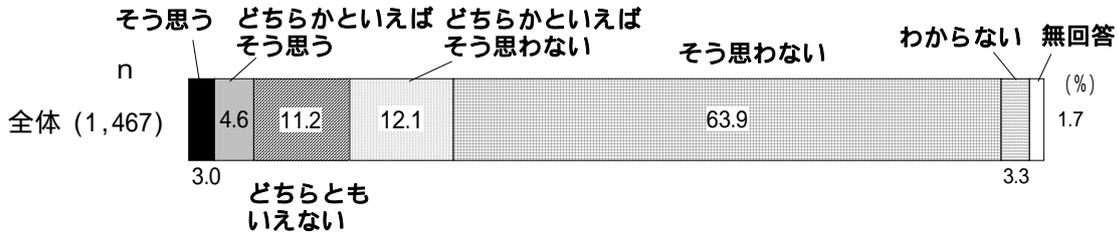


(9) 理不尽な理由による差別等

『そう思う』は約1割

問9 あなたは、自分が日常生活の中で、理不尽な理由によって差別等の辛い目に遭っていると思いますか。(は1つ)

<図表1-17> 理不尽な理由による差別等



自分が理不尽な理由によって差別等の辛い目に遭っていると思うか聞いたところ、「そう思う」(3.0%)と「どちらかといえばそう思う」(4.6%)を合わせた『そう思う』(7.6%)は約1割となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(12.1%)と、最も多い「そう思わない」(63.9%)を合わせた『そう思わない』(76.0%)が7割台半ばとなっている。(図表1-17)

〔参考〕平成17年度の同様の項目による調査結果との比較

(単位: %)

	n 全体	『そう思う』	『そう思わない』
平成17年度調査	1,081	6.3	78.9
今回調査	1,467	7.6	76.0

【地域別】

『そう思う』は“南地域”(11.9%)と“東地域”(10.0%)で1割以上となっている。『そう思わない』は“西地域”(80.4%)で唯一8割と高くなっている。(図表1-18)

【性・年代別】

『そう思う』に大きな差はないが、男性40代(10.1%)と女性60歳以上(10.0%)で1割以上とやや高くなっている。(図表1-18)

<図表1 - 18> 理不尽な理由による差別等 / 地域別、性・年代別

